自然学習講座

テーマ：レインガーデンを作ろう！～庭から水の循環を知ろう～

日　時：令和8年11月15日(日)午後1時から3時まで(雨天決行)

講　師：栗原薫 氏 (グリーンインフラ市民学会 理事)

参加費：無料　　定員：30人(小学生以上)

受付開始：令和8年10月22日（木）

集　合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受　付：令和8年11月3日(火)までWeb・電話で受付。応募多数の場合抽選。



雨水を溜め、ゆっくりと地下に浸透させていくレインガーデン作りを通して、水の循環について学びます。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
※ 小学3年生以下は保護者同伴。

イベント・ガイドウォーク

第12回 かわせみフェスティバル　10月4日(日) 10時～15時

生きもの観察会やクラフト体験、カワセミが生息する他の公園の紹介や地元の施設によるポスター展示等を行います。会場は水元かわせみの里。





ガイドウォーク　1回目　11時から30分間　2回目　13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。
ボランティア活動日はボランティアさんが野草園を案内します。





水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和３０年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



- 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)
- 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)
- お問合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201　東京都葛飾区水元公園8番3号
- 交通
  京成バス東京
  バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。

水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ) 金町駅南口→水元公園→金町駅南口 水元かわせみの里下車　徒歩1分	金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口 (金61系統) 水元五丁目 または 大場川下車　徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。

葛飾区公式HP　ブログ　Facebook　X（旧Twitter）



水元かわせみの里
水辺のふれあいルーム通信

令和8年　9月20日
（通算第234号）

水元小合溜の生きもの：224

クロベンケイガニ

ベンケイガニ科クロベンケイガニ属
甲幅 3cm～4cm
活動期 4～10月

陸を歩きまわる水辺の分解者

川や池の、岩場や草地などでよく見られます。ベンケイガニ類などの陸地でよく活動する種類は、体内に取りこんだ少量の水分を循環させてエラに酸素を供給することで、陸の上でも活動できます。植物質を好む雑食性で、ヨシの葉や落ち葉などを食べるため、水辺における大事な分解者の一種です。

海が命をつなぐカギ

クロベンケイガニの成体は川や池で暮らしますが、メス親の腹部から放たれた幼生は海で育ちます。成長した幼生は潮の満ち引きに合わせ、再び川や池に戻ってきます。クロベンケイガニにとって、海とのつながりは無くてはならない大切な要素です。



発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、
お散歩隊が見つけて紹介します！



9/5 カルガモ　１年中観察できるカモ。水辺のふれあいルーム前の岩場に飛来し水草を食べる様子がよく見られる。



9/6 ナガコガネグモ　草地の低い位置に網を張り、主にバッタ類などを食べる。網にX字型の白帯（はくたい）をつける。



9/6 ミスジマイマイ　雨の日に、野草園やバードサンクチュアリなどの林の中でよく見られる、大型のカタツムリ。



9/4 オンブバッタ　草地でよく見られるバッタの一種。水辺のふれあいルーム前の田んぼでオモダカの葉を食べていた。



9/6 テングイラガ類の幼虫　幼虫時点では類似種との識別は困難。背中の刺毛には毒がある。クヌギの葉を食べていた。



9/18 トキワサンザシ　ピラカンサとも呼ばれるサンザシ類の一種。果実は冬の野鳥たちの食べものとして好まれる。



9/18 ドングリ(コナラ)　クヌギやシラカシなど、他の種類も含めて9月上旬には地面に落ちているところが見られた。



9/18 アオスジアゲハ　青い筋模様が特徴的なアゲハの一種。ヤブガラシの花を吸蜜のために飛びまわっていた。



9/2 アオウキクサとウキクサ　水面に浮かぶ浮遊植物の一種。アオウキクサは水面を覆うほど増えることがある。

● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム　「水面を覆いつくす外来水草」のお話

全国の河川や池沼の一部では、度々、水草が水面を覆いつくすほどに繁茂している様子が見られます。例えば、アオウキクサ（⑨）や外来アカウキクサ類、園芸スイレン、ホテイアオイなどは都内でも広く見られますが、このうちアオウキクサを除く3種については、「外来生物法」における「特定外来生物」や「重点対策外来種」指定種を含む、高い繁殖力をもつ外来種となっており、この外来水草も含めた水草の繁茂が、水辺環境にとって問題となっています。

水草は、水辺を利用する生物にとって重要な隠れ家や繁殖場所ですが、水面を覆いつくすほどに繁茂すると、水中への酸素供給を阻害しつつ酸素を消費することで水辺を酸欠にしたり、水中に届くはずの光を遮って水中の水草を枯らしたり、トンボが縄張りや産卵場所とする水辺に気付けなくなって数を減らしたり、増えた水草が冬に枯死して堆積することで水中が富栄養化するなど、様々なデメリットを引き起こします。

水辺の生きものにとって水草は重要です。しかし、多すぎれば別の問題を引き起こします。スイレンやホテイアオイの花は美しく、楽しみにしている方も少なくないでしょう。しかし、それが本当にあるべき姿として正しいのか、考える必要があるように思います。（野間）



ボランティア活動報告

水路や野草園の整備を行ないました。

8月から9月にかけて、水元かわせみの里南側にある、木の橋の下の水路を整備しました。野草園では、人が通れるように園路の草刈りをしたり、草地を覆っていたヤブマメなどのつる植物を除去するなどして、園内の植栽整備を行ないました。



水路上に覆い被さっていた草木が、水路を埋めないように除草・剪定しました。



水路の中から生えた草も、水の流れが良くなるように取り除きました。



野草園では、草地を覆っていたつる植物を除去し、下草の成長を阻害しないよう整備しました。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方個々人が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容　水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境･緑化フェアなどへの参加
■募集期間　随時募集しています
■対　　象　18歳以上の方(原則)
■活 動 日　月4回程度(定例活動日　第１、３土曜日、第２、４木曜日)
■申し込み･お問い合わせ　水元かわせみの里　03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生きものの調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とりキットを作ろう

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- 生物関係のクラブ活動の補助
- 大学、専門学校の実習の受け入れ
- 福祉系団体への自然解説
- 歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。
※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里　03-3627-5201)まで。

野草園だより　見頃の生きもの 9月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。
様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

9月の見頃

マユミ



しなやかで弾力性があり、かつて弓の材料として使われていたことから「マユミ」という名前がつけれました。
枝からぶら下がるようになっている実は成熟していくにあたって赤みがかっていき、成熟をした後は実が４つに割れます。そしてその割れ目からは、朱色の種が飛び出してきます。

